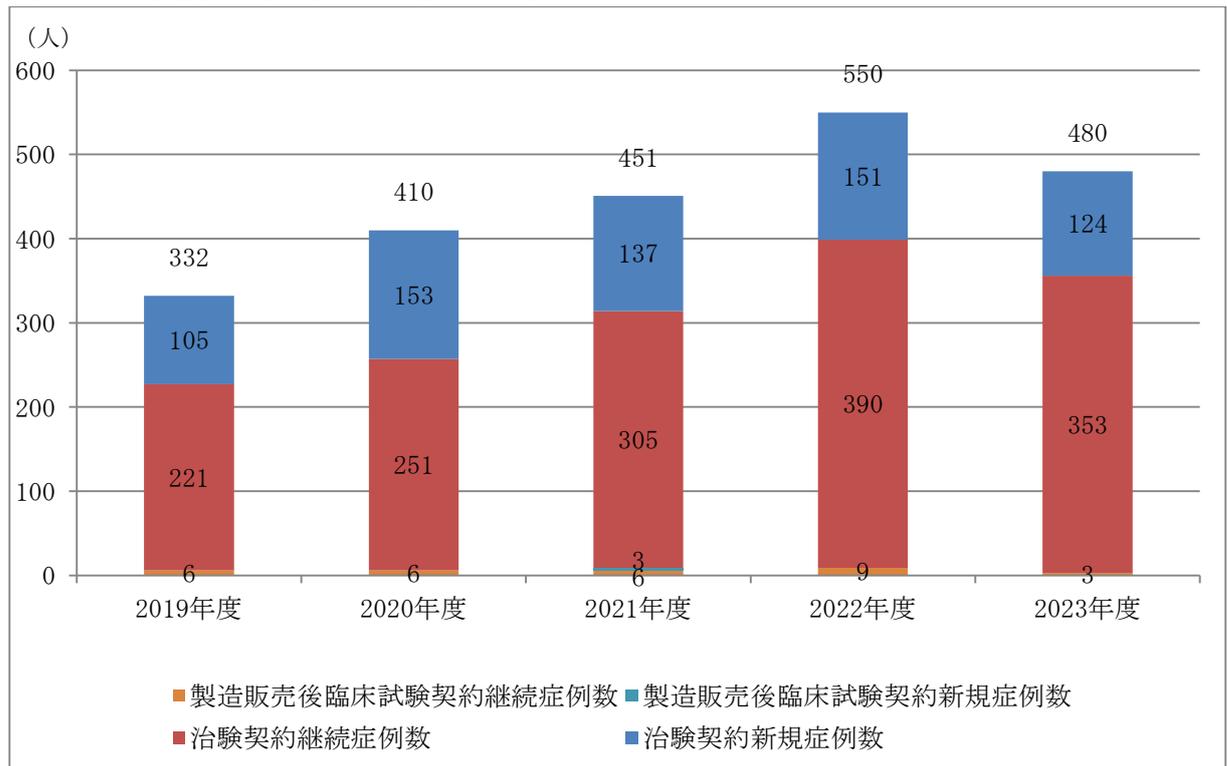


## 治験契約症例数と新規・継続の割合



治験は、医薬品もしくは医療機器の製造販売に関して、薬機法上の承認を得るために行われる臨床試験であり、治験・臨床研究支援センターでは、第IV相（フェーズIV）の製造販売後臨床試験を治験と区別し集計している。

契約症例数の多い治験が2022年度に終了したため、継続症例数が減少している。また、2022年度は契約症例数の多い新規治験が多数あった一方、2023年度は契約症例数の少ない新規治験が多かったため、新規症例数が減少している。症例数増加の為に、治験契約数増加が必要である。特定機能病院であり、多岐にわたる患者が来院される施設であるため、今後も積極的な治験への取り組みが必要である。

なお、2013年頃より、「契約予定症例数」という概念から「目標とする治験予定症例数」に変更されている。2013年以降のデータに反映している。

データ提供 治験・臨床研究支援センター